**大村ロータリークラブ週報**

2021～2022年度　　No.12

令和 3年 10月 19日　発行

（通算例会　2995回）

会長　竹房　政美　幹事　田原　範隆



回）

事務所：大村市東三城町１２－１（和光マンションＤ）<TEL:0957-42-6192/FAX>：0957-42-6193

例会場：長崎インターナショナルホテル　毎週火曜日　12：30～（但し　第4火曜日　於：梅ヶ枝荘・いけす割烹寿楽）

2021年～22年度　国際ロータリーのテーマ

**『奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために』**

RI会長　シェカール・メータ

2021年～22年度　大村ロータリークラブのテーマ

**『奉仕の意義を探求し、風通しの良いクラブ作りを目指そう！』**

**会長の時間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 10月12日**

みなさん、こんにちは。まだまだ暑い日が続いておりますが、週末辺りから急に気温も低下するようですので、体調管理には十分な注意が必要かと思われます。年度は替わりましたが、為永会長年度の「健康力を高めるロータリアンを目指そう！」というテーマも常に念頭に置いて生活したいと考えております。

　そして、全国的に新型コロナの感染者は減少傾向にあるようです。ここ１年間ほど、堂々と県外へ旅行に行くことは控えておりましたが、来月からは時間を見つけて、５年間を過ごした名古屋市と、約４年を過ごした浦和市と大宮市（現：さいたま市）、３年間を過ごした横須賀市・横浜市の街並みの散策にでも出掛けようかと考えているところです。それに加えて、１枚千円で購入した額面６千円の県内宿泊割引券も、５枚のうち４枚が使い切れてないので、使用期限の12月末までには使いたいと考えております。冬に向けて、コロナの第６波が到来すると予測されている専門家もおられるようですので、旅行するなら今のうちかもしれません。

　さて、今日のメインプログラムは、「ガバナー講話」となっております。本来は、８月24日に予定されていた「ガバナー公式訪問」の際に、塚﨑ガバナーがお話をされる予定だったものが纏められた内容だと思われます。年度が替わって、あまり時間が経過しますと、ＲＩ会長テーマであったり、ガバナーの地区目標や行動指針も色褪せてしまいますので、出来るだけ早い段階にということで、本日の開催に至ったという経緯であります。

　ガバナー公式訪問は一旦延期となりましたが、９月21日の例会後、ガバナーとの懇談会がZOOMにて開催されましたので、少しだけ報告をさせて頂きます。出席者は、地区から塚﨑ガバナーと岡田地区幹事、大村クラブからは、帯屋ガバナー補佐、小又エレクト、田原幹事、私の４名が出席しました。ZOOMカメラの設営を芦塚君にお願いし、古市事務局員にも背後で待機をして頂きました。帯屋ガバナー補佐の簡単なクラブ紹介、田原幹事のクラブ概況の報告、私の会長運営方針の説明の後、本格的な懇談会に入りました。活動計画書につきましては、会長運営方針を含め地区内でもかなり出来が良いとの高い評価を頂きました。また、本年度の奉仕活動への取り組み、地区出向者の人数の多さ、例会出席率、会員増強に対する姿勢のほか、特にクラブ会員に占める女性会員の割合については、地区の女性会員割合が低迷する中、当クラブは全国平均の７％を上回っている点でも高く評価をして頂きました。特にダメ出しをされることは１つもなく、塚﨑ガバナーとの懇談会は終了しました。そして、懇談会の最後に、地区幹事からの発言がありました。その発言とは「活動計画書は頂いていますが、予算書・決算書が添付されていません。」という内容のものです。私は、「後日送付します」とお答えしましたが、過去に予算書・決算書を地区に送付していた記憶はありません。昨年は、他クラブのガバナー補佐から同様の質問がありました。特段、予算書・決算書を見られても、その大部分は会費収入・ニコニコＢＯＸ・繰越金が中心ですし、収支が均衡するよう予算を組んでいるだけなので、適正に処理された予算･決算ならば、やましいことは何もありません。ですが、私は、地区幹事やガバナー補佐が予算書や決算書を提出するよう求める根拠って、何らかの明文化されたものがあるのだろうか、とずっと気になっておりました。そこで、ＲＩの日本事務局に確認したところ、その回答は、**「特に明文化された根拠はない」**とのことでしたが、**「地区ガバナーとしては、国際ロータリー細則のガバナーの任務に、『地区内のロータリアンのグループの活動について定期的に尋ねること』」**というのがあるそうですし、**「ガバナー補佐としても、ロータリー章典にはガバナー補佐にも色々とクラブ現況を把握することが任務として書かれている」**とのことで、**「地区から必要な支援を受けるための活動報告の一環として考えていただければ」**との回答でした。なんだかイマイチはっきりしない回答だなとは思いましたが、今年は当クラブからガバナー補佐を出しているし、確かに地区からは色々と支援を受ける立場ではあるので、最低限の予算書・決算書のみ提出することとしました。

　この話は、恐らく次年度以降も生じてくるものと思われましたので、関係者を含めた理事の皆様には、私とＲＩ日本事務局の担当者とのメールのやりとりを送付したという次第であります。

最後は、愚痴っぽくなりましたが、以上で会長の時間を終わります。　　　　　　　　　　　以　上

10月5日の催し(前週未掲載)

～ ロータリー財団委員会卓話① ～

新生の里キリスト教会　ジャクソン・M・ギャロット様

はい、こんにちは皆さん。今日は「寄付について話してください、特に日本とアメリカの比較をしてください」ということでしたので、私にとても身近な部分である寄付について喜んで皆さんにお話したいと思います。

さて、具体的な統計に基づいたものではありませんが、アメリカは個人の寄付の比率が世界的に一番多い国でしょう。 しかし、最近はそんなアメリカでも、国の方がそれを奪い取ろうとするんですね。税金で取って政府が分配するということです。でもそれは逆効果です。個人的な動機で人の助けをするということが、明らかに効率の良い方法であるとアメリカの歴史が示しています。アメリカには、寄付に対する法律・枠組みがあります。登録された法人・NPOに寄付するとそれが所得税の部類になります。私の次女は銀行員ですけど、彼女と話していたら、アメリカのほとんどの企業では、自分で寄付したい先を登録すれば給料から直接寄付できるということです。それは日本ではおそらく「は？」と思うことですね。 たとえば教会では、日本の教会は経済的に苦しいところが多いですが、アメリカではそういった寄付により良好です。しかしなぜ、アメリカがこんなに寄付に寛大なのか気になってきますね。それは宗教的土台からくると私は確信しています。「アメリカがキリスト教の国」というのは今では大げさですが、現在、信仰によって生活している人は30%くらいはあろうと思います。それでもアメリカの土台は明らかにクリスチャンにあります。そのアメリカの憲法をつくった方々は、何度も「自然の神」という表現を使いました。それは「聖書の神様」という意味で使いました。愛してくださり与えてくださる神様への信仰です。キリスト教の基礎的なところが、自分で自分を救えないから神様が救ってくださるという事です。聖書の最も有名な一節でヨハネによる福音書3章16節「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」 それが、与える。創造主の神様が自分の御子をこの世に与えてくださった。だからキリスト信徒たちは、自分の日常生活にその「与える精神」を反映するはず、当然の事になっていますよね。こんなに受けたら「与える」でしょうということです。

聖書には「寄付・与える」がいっぱい書いています。それは、持っている程度に応じて献金することです。無理強いな献金ではありません。1人１人が、神様がこんなに幸せしてくださって、ならば私はそれに応えたいな、と思って献金する。

もう一つ例を示します。一人ひとり嫌々ではなく心に決めた通りにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。だから、与えることが当然と考えること。まぁ、旧約聖書では、私たちが持っているものは全部、創造主から頂いているという意識がかなり強いですからね。モーセの申命記の中に、「あなたの神、主を心に据えなさい。主があなたに富を築きあげる力を与えられるのは、あなたの先祖たちに誓った契約を今日のとおり果たされるためである。」。だから稼ぐ力自体も神様からいただく。 だから、自分の財布にあるものは全部神様のおかげだ。こんなにいただいているから、けちけちするのはおかしい。自分も神様の器として、人にも与えよう…当然のことです。

  私たちが持っているものは、管理しているに過ぎません。誰でも自分で稼いで、努力してここまできたと思いたい。外国人が日本にくると真っ先に覚える言葉は「頑張って」です。日本人はすごい努力家です。しかし、自分が頑張っただけで、自分を救うことができないときがある。そんなとき神様から救われる。だから、神様に「寄付する」。

私はもう48年以上前から自分の収入の十分の一を必ず神様に捧げると決心しました。

当時本当に貧乏でした。私は夜間、ビル掃除の仕事をしていました。十分の一献金すると決めていたなぁと思いながらも、月末になると十分の一が絶対残らないです。けど、入ってきた時点で「捧げる」と決めたところ、その月からできるようになりました。新生の里キリスト教会が活動して30数年になりますが、毎年、私は教会からもらっている以上に献金しています。ですが、神様より与えることはできない。神様は必ず寛大なお方です。無垢に応えてくれます。

ロータリー・クラブは宗教的団体じゃないですね。ですけど、ロータリー・クラブは奉仕の組織ですね。本当に与えるための組織です。自分の努力、自分の善意を与える組織でしょう。だから、皆さんは一人一人が如何ほど神様に恵まれているかというに気づいて、それに応えてロータリーを通して与えることを喜ぶ、と思います。

こんなに頂いているから与えましょう、という精神。本当に幸せな人生の限りじゃないかなと私は思います。これからも皆さんの活動がますます繁栄するように祈ります。

10月12日の催し

**～ 雑誌の時間④～**

石坂　和彦

今月10月号のロータリーの友も、超満載です。とても7分間では、ご報告はできません。早歩きになりますが、よろしくお願いいたします。まず横組みの裏表紙をご覧ください。「11月に全会員を対象にした調査を実施します。ロータリーでよいこと、よくないこと、ロータリー会員として期待することなど、ご意見やご感想をお聞かせください。」ということです。

1. 次はＲＩ会長のメッセージです。（5ページ）地域社会の経済発展月間である10月。特に貧困の問題です。先日テレビのニュースで連日流れていると思いますが、アフガンの子供たち、状況はタリバン政権になっての混乱が極度に酷く、いたいけな子供が、『食料もない！トイレもない！』と訴えていました。人間として生きる最低限度の条件として、食料があり、トイレがあり、水がある。この環境はぜひとも必要です。一刻も早く、支援の手が届くように祈るばかりです。

**私の若いころから好きな言葉、❝何でもできる人はいない。誰にでもなにかができる❞**何でもできるわけではありませんが、ロータリーの力に期待いたします。

1. 次に**地域社会の経済発展月間**にふさわしい記事です。7ページから，

女流俳人、加賀千代女（かがのちよじょ）は、元禄時代の天才女流俳人です。このちよじょをキーワードとして、地元の金城大学短期学部とコラボして、新たなイメージを創出し，物品，食品，工芸，文学，などあらゆる分野で、新しい地域文化につなげていく。素晴らしい街づくりプロジェクトです。若者と共に創る長期プロジェクト、大変参考になります。

1. そして毎年10月は、米山月刊です。1（11ページから23ページまでの特集記事お読みください。）
2. 24～25ページ（ページ記載なし）、39ページ～40ページ

をご覧ください。ロータリーの友事務所へ問い合わせをいたしました。ＲＩ指定記事，特別versionです。RI理事会において審査決定事項です。

「多様性・公平さ・インクルージョンへの

ロータリーのコミットメント」

**DEI**＝diversity，equity，and inclusionという

Rotaryの価値観に従い、多様性を重んじ全力を尽くします！

とのコミットメントです。

1. 縦組みに参ります。17ページ友愛の広場

横浜港北　桑原　薫さん　「二つの標語の歴史的考察」

佐世保　（パストガバナー　）福田　金治さん

それぞれ大切の問題提起です。考えさせられます。

Ｈｅ　Ｐｒｏｆｉｔｓ　Ｍｏｓｔ　Ｗｈｏ　Ｓｅｒｖｅｓ

　Ｂｅｓｔ．

最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる

　　私は、この標語に力をもらっています。この言葉は、とってつけたロータリーのための標語では無い、真に経営の神髄をついた経営哲学だと考えます。

　　Ｓｅｒｖｉｃｅ　**Ａｂｏｖｅ**　Ｓｅｌｆ

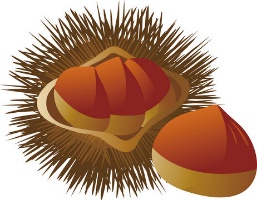
　　　Not　（ではなく）利己心の完全否定ではなく、

Ａｂｏｖｅ　（よりも）という解釈をしたほうがいい

という論調です。大変参考になりました。

ただし、ここは押さえといたほうがいいと思いますが、それぞれはそれぞれの方々のロータリー感であり、理解であり、解釈であるということです。できるだけ第2次3次資料ではなく、電文ではなく、できるだけ原典で学ぶこと、自分なりにとことん納得するということも必要と考えます。

来月１１月は、ロータリー歴54年の木下一功君です。友の紹介とあわせて、ロータリーの哲学も語っていただきたいと思います。

一緒に勉強いたしましょう。

◆◆◆本日のプログラム◆◆◆

米山奨学生出前卓話(陳 怡婷(チン イテン)さん)

◆◆◆次週（10/26）の予定◆◆◆

体験例会、千葉憲哉地区研修委員会リーダー卓話

10月12日の催し

【四つのテスト唱和】片岡　敏明君

【2021-2022年度大村RCテーマ唱和】

【雑誌の時間④】石坂　和彦君

【ガバナー講話(映像視聴)】

　国際ロータリー第2740地区ガバナー　塚﨑　寛君

【出席率発表】酒井　美克君

【ニコニコBOX】山口　稔君

≪ゲスト・ビジターのご紹介≫　該当なし

≪会員数≫ 41名　出席者数 34名　出席率89.4％

出席率(9/21)92.3%

≪欠席者≫ 烏山君　貞松君　伊達君　中瀬君

≪免除者≫ 荒木君　小又君　西川君

幹　事　報　告

■　行事予定

・10/24(日)10：30集合 大村RC親睦ゴルフコンペ

＠大村湾CC

・10/29(金)15：00～17：00第3回RYLA委員会

＠シーハットおおむら

**・11/27(土)11：30～地区大会＠出島メッセ長崎**

■　例会変更案内

【武雄RC】

　例会場変更

　武雄商工会議所2F　大会議室

　(住所)佐賀県武雄市武雄町大字昭和1-2

■　来　信

≪ＲＩ/日本事務局より≫

・地域経済の発展：ロータリー奉仕の最新情報2021年10月

≪地区/各ＲＣより≫

・公財）ロータリー米山奨学会：ハイライトよねやまvol.259

・国際ロータリー第2780地区ガバナー田島透：世界ポリオ根絶サミットin D2780のご案内

・長崎出島RC：幹事交代のお知らせ

　旧）松尾　宏司　⇒　新）吉村　尊義

　㈱アイシーエヌ代表取締役

　〒850-0031　長崎市桜町8-32

TEL：095-827-1919　FAX：095-827-1100

　e-mail：[yo46ra@topaz.ocn.jp](mailto:yo46ra@topaz.ocn.jp)

・ロータリー希望の風奨学金：風の便りvol.7 No.2(通刊84号)、風の便りvol.7 No.3(通刊85号)

・ロータリー日本100年史編纂委員会：「ロータリー日本100年史」頒布促進のお願い

・国際ロータリー理事(2020-22年度)辰野克彦：日本経済新聞社10月22日(金)朝刊全国版一面広告掲載についてのお知らせ

■　印刷物拝受

週報：島原南RC

■　他団体よりの案内　該当なし

■　その他　該当なし

ニコニコBOX(10/12)

**竹房君・田原君：**ガバナー公式訪問にかわるガバナー講話放映、帯屋G補佐ご案内よろしくお願い致します。雑誌の時間石坂君、よろしくお願いします。**5**

**木下君：**私の名前が出てびっくりしています。石坂君の奉仕の実践である利他の心をいつも学んでいます。**1**

**酒井君：**9月第3例会無断欠席お詫び！以後さらに気を引き締め、例会無断欠席無きよう気を付けます。**1**

**佐藤君：**結婚記念日をお祝いしていただき、ありがとうございました。**2**

**森本英君：**相変わらずの石坂節、ロータリー情報小委員長の講話素晴らしい事だと思います。小生もさらに勉強せねばと思います。さらに来月は大先輩の木下君との事です。**1**

**小計10,000円　合計147,000円**



**四つのテスト**

**1．真実かどうか**

**2．みんなに公平か**

**3．好意と友情を深めるか**

**4．みんなのためになるかどうか**

言行はこれに照らしてから

**花が咲いている

自動的に生成された説明**

10月は米山月間

☆米山月間の由来☆

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10 月は米山月間となっています。なぜ、10月なのでしょうか？

1975 年8 月、米山梅吉翁が逝去した4 月28日までの1 週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですでに行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980 年度になると、米山週間は4 月から10 月1 日～7 日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978 年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4 月では各クラブへ送付される事業報告

書などの資料数字が約1年前のもの

となることや、採用されたばかりの

奨学生に卓話を依頼することに無理

がある、交通機関のストライキが多

い、など現実的な支障があったため

です。そして何よりも、東京ＲＣに

よる米山基金から日本全地区クラブ

の共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10 月だったこと、これが大きな理由とされています。

1983 年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。